1. 去勢牛：　精巣を除去された牛去勢の目的：主に肉質を柔らかくすることや、飼育時の牛同士の競合軽減を目的として種牛を除く雄牛は、基本的に去勢が行われる。雄性ホルモンの分泌による肉の臭みをなくす。
2. 去勢の実施が早すぎると尿道の発育が遅れ尿石症にかかる危険性がある。
3. 逆に遅すぎると月齢経過による雄牛の去勢期間のストレスが増大し、発育遅延の可能性が大。
4. ３～5か月以内を目安に実施するのが一般的とされる。
5. 牛の胃袋は4つ。発酵タンクと言われる胃袋は第一胃袋。反芻活動
6. 牛の上の歯茎の名前：“歯床板”。奥歯＝臼歯と言う。
7. 牛の唾液はアルカリ性。
8. 濃厚飼料＝配合飼料。
9. 粗飼料＝
10. トウモロコシを圧縮した餌＝トウモロコシアッペン　生後3か月齢の子牛に与えるエサ（スターターモーレット）は粒粒上の餌である。＝ペレット状。